

TIAT のインナーブランディングプロジェクトが 「iFデザインアワード 2017」を受賞

～世界三大デザイン賞の2つめの栄冠に！～



羽田空港国際線旅客ターミナルは、インナーブランディング・プロジェクト「WE ARE TOKYO」の空間コミュニケーションについて、世界三大デザイン賞のひとつで、国際的に権威のあるドイツの国際デザイン賞「iF デザインアワード 2017」を受賞しました。今回受賞いたしましたのは「コミュニケーション部門」の「Branding activity Communication - Typography / Signage」分野での受賞となります。

iF デザインアワードとは、ドイツのハノーバーを本拠地とする iF International Forum Design、というドイツで最も長い歴史を持つ独立したデザイン団体で、今年も59の国/地域から集まった5,500件を上回る応募デザインの中から、58名のデザイン専門家が厳正な審査を行い、優れたデザインを「iF デザインアワード」として表彰しているものです。

また、同賞はドイツ「レッド・ドット・アワード」、アメリカ「インターナショナル・デザイン・エクセレンス賞」と並び、世界三大デザイン賞のひとつとされており、昨年弊社は同じ、「WE ARE TOKYO」の空間コミュニケーション部門で「レッド・ドット・アワード」を受賞したため、今回の受賞で、世界三大アワードの2冠を達成したことになります。

このブランディングプロジェクト「WE ARE TOKYO」は、羽田空港が目指すブランドの姿をターミナル従業員に浸透させることを目的とした、エンゲージメントの取り組みです。2020年に向けて、海外からのお客様を迎えるにふさわしい空港を目指し、ターミナルで働く全ての人々を対象として、ブランドコンセプトおよびメッセージの策定と、参加型のイベントやワークショップ・空間コミュニケーションをはじめとするターミナル従業員のエンゲージメントの向上により、羽田空港ブランドの理解・浸透、一体感の醸成、コミュニケーションの活性化を図っています。



従業員通路での空間コミュニケーション。「WE ARE TOKYO」の掛け声のもと、従業員が前へ進んでいく連続的な写真を採用し、日本の玄関口である東京を代表する空港となるという意思を表しています。天井の「WE ARE TOKYO」の文字は、見る角度によって立体感を持つ視覚的な仕掛けも施されています。